

石賀

Ishiga

久

Hisashi



観光の発展に東奔西走

蒜山地域は県下有数の観光地。永きにわたり蒜山地域を中心に観光の発展に尽力してきた石賀久さんに話を聞きました。

「もともと父が雑貨屋をしていて、自分は長男。当然のこととして店を継いで商売を始めました」と話す石賀さんが観光業に乗り出したのは今から50年前のことです。「蒜山大山スカイラインができ、道路が大山までつながることになりました。そこで、玉造や皆生に向かうお客さんに向け、レストランとお土産物屋を兼ねたヒルゼン高原センターをオープンすることにしました」。それからというもの石賀さんは、観光に大きく関わる

真

MANIWA BITO

庭人

ようになりました。昭和57年には蒜山観光協会会長に就任。地域の観光を発展させるために東奔西走しました。石賀さんは当時を振り返り、「先進地視察に行っている人たちが話しをしたり、高知県須崎市に雪を届けたりと、いろいろな人たちと交流しました」と懐かしそうに目を細めました。

周囲の人たちとの信頼関係が一番大切

蒜山地域の魅力を尋ねると、「地域がまとまっているということでしょうか。ひるぜん焼そば好いとん会がゴールドグランプリを獲得したときもそうだったのですが、みんなで団結して、みんなで盛り上がっていました」と地域の団結

力に胸を張る石賀さん。

石賀さんは蒜山地域の観光振興だけでなく、平成17年からは真庭観光連盟の会長としてたくさんの人たちと関わりながら数々の事業に関わってきました。「年に1回の総会で説明をしても、それだけでは何も伝わらない」石賀さんは、日頃からみんなと話しをして、時には一緒にお酒を飲んで、交流して信頼関係を築いてきたと、笑顔で教えてくださいました。

蒜山には年間を通じて多くの観光客が訪れます



ヒルゼン高原センターは50年前オープン



石賀 久さん(蒜山上福田)

一般社団法人真庭観光局 顧問
蒜山観光協会名誉会長

昭和57年に蒜山観光協会会長に就任。以来、真庭観光連盟会長などを歴任され、真庭の観光地の発展に大きく尽力する。

